

取組概要(目的)

2011年3月11日に起きた東日本大震災についてマスコミやインターネットを通じて得られる情報は玉石混合で、時には**科学的知識と大きく乖離した風評**も含まれており、正確な情報を抽出することは容易ではない。こうした問題に対して、学年や分野、国籍にとらわれず新しい知見を広げていくことがこれからの未来に必要で、**物事を多角的に見る洞察力を身につけることが重要**になってくる。浜通り地域の居住地区と農作地の多くは除染が終了し、居住に支障がないほど空間線量が低下しているが、現実に住民が安心して暮らすためには**継続的に汚染状況のモニターを行うことが必要**である。試料の採取と放射線量の観測を実際に行うことで**サンプリングや測定方法について学ぶ**。またディスカッションを通し、自然科学的な理解を超えた地元の方々の「気持ち・想い」を知る。そして多様なバックグラウンドを持った学生同士が話し合うことによって、**自身の見識を広げ共有する力を身につける**。

これまでの成果

サンプリング

各試料採取場所で指示された植物の葉や果実を採取した。さらに その植物が育成している場所の土壌を採取した。土壌は場所によって採土補助器によって 深さ5cmを採取または、ライナー採土器で深さ30cmを採取した。採取した**植物や土壌は現地で各自が処理**をし、サンプルを作った。

測定

現地では**Nal検出器**を用いて採取してきた植物および土壌試料のγ線測定を行った。測定結果から、**放射能濃度 [Bq/kg]**の算出までを行った。測定結果から、植物と土壌の線量について考察を行ったり、どのような場所で線量が高いのかを数値を通してみることもできた。今後は大阪大学の核物理センターにある**Ge半導体検出器**を用いてより精密な測定を行い環境放射線の考察を行っていく予定である。

空間線量マップ

学生は2種類の空間線量計「Gyoro Geiger」と「はかるくん」を使い地域の空間線量率の調査を行った。実習中は常に携帯していたので、気になった場所や**ホットスポット**の空間線量をいつでも測ることができた。今後は得られた数値をもとに測定した地域の**線量マッピング**を行う予定である。

交流会

学生である私たちが地域を訪れ交流の機会を持ったことを、とても喜んでくださった地域の方々の**笑顔が印象的**であった。農業委員会の会長の方に農作物の具体的な検査方法を聞く班員や、メンタルケアに当たられた方へ被災者の方が地元に戻り意思があるのかどうかを聞く班員もあり、メモを取りながら現地の方の話に耳を傾けていた。**数値や理論では説明できない生の感情**を直接聞くことができ、それぞれの想いを学ぶことができた。

議論 テーマ：研修を通して学んだことを誰と共有しよう伝えるのか？

研修会では一貫して以下の**3点**に関して繰り返し議論が行われた。

- ・研修を通して得た知見のなかで印象に残ったこと
- ・自分達が共有したい人についてと、そこからの反応
- ・他者に伝えるときに留意したいこと

結論を出すのではなく**意見を広げることが目的**で、今回の議論で考えたことは、すぐに実生活の中で生かすことができる。実習中はその日見たこと経験したことを班ごとに話し合った。その後班で意見をまとめた後、ほかの班と共有した。実習後は**全体報告会**が行われ、各班10分程度のプレゼンで実習中にそれぞれ話し合った内容をまとめ共有した。

事業終了時点の成果及びその後の見通し

2026年以降の福島県浜通り地域環境放射線研修会は、**大熊町に建設予定の大阪大学福島キャンパス**を見据えて、質・量ともに拡大して開催することを考えている。これまでの大学生への教育を発展継続しながら社会からの求めに応じて、**小中高校の教員や一般社会人への教育事業**としても行っていきたい。そのために福島キャンパスに常駐の職員を中核として配置し、それを様々な方法においてバックアップできるシステムを構築していく。そして、本事業で目標としている**福島県浜通り地区の発展的復興に資する人材育成を継続**すると同時に**国際的に活躍できる人材を福島県浜通り地域から排出**していく考えである。そうすることにより、**福島県浜通り地域を「第二のふるさと」と**感じてくれる人が増えていくと同時に、世界から浜通り地域を魅力的な教育研究地区として感じ、訪問する人を増やしていきたい。本事業は大阪大学から発信したが、現在は日本のみならず海外の大学にも広がっており、この発展の土台となった浜通り地域自治体およびイノベーションコスト事業の素晴らしい取り組みに感謝するとともに、今後とも続くことを強く望んでいる。



土壌のサンプリングの様子。はかる君を用いて空間線量も同時に測定した。



採取して試料を実際に測定している様子。事前講義で学んだNaI検出器の使い方を復習しながら測定した。



Gyoro Geigerによる空間線量マップ



はかる君によるホットスポットマップ



現地の方々との交流会



山津見神社の見学



議論では活発に意見を交わした。



成果発表会では各班の意見を聞いた。

